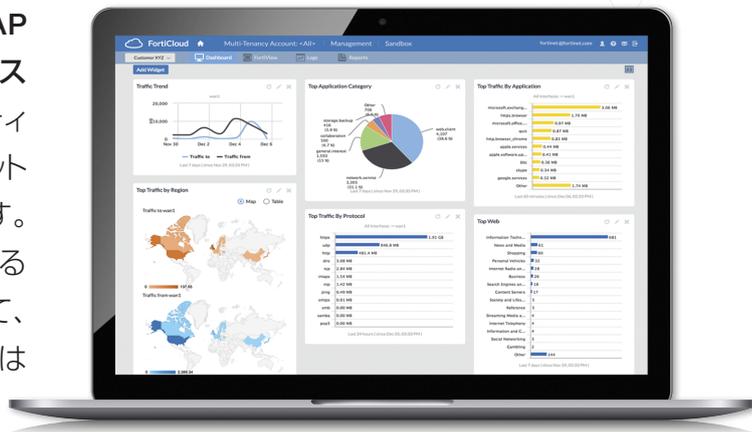


FortiCloud

クラウド型セキュリティ管理サービス

FortiCloud は、FortiGate、FortiWiFi、FortiAP 製品のプロビジョニング、構成管理、分析サービスを提供する、クラウド型サービスです。フォーティネット製品の迅速な配備および構成が可能で、ネットワークの一元的な制御と可視化を実現します。FortiCloud はホステッドソリューションであるため、データセンターでの利用や導入にあたって、ハードウェアやソフトウェアを追加する必要はありません。



クラウドプロビジョニング

FortiAP、FortiWiFi および FortiGate 製品のクラウドベースのプロビジョニングにおいては、FortiCloud 登録機能が利用できるため、詳細な専門知識不要でデバイスをプロビジョニングが可能です。



制約のない拡張性

クラウドベースのモデルなので、ビジネスの成長に合わせて柔軟に拡張可能です。



容易な管理

一元管理機能により、制御、可視化、レポートを同時に実行できます。



ハイライト

- クラウド型ログストレージ
- ダッシュボードによるリアルタイム監視
- セキュリティレポート生成機能
- リモートによるデバイス管理 (ファームウェア&設定情報)
- クラウド型サンドボックス
- クラウド型無線 LANコントローラ
- FortiDeploy によるワンタッチデプロイ
- MultiTenancy Accountによるマルチテナント対応

ワイヤレス / セキュリティの課題を解決する FortiCloud

課題	ソリューション
構成に関する知識を持つエキスパートがいないリモートサイトのワイヤレス/セキュリティデバイスのプロビジョニングを簡単に実行できるようにしたい	FortiAP、FortiWiFi、およびFortiGateには、FortiCloud登録機能がファームウェアに組み込まれているため、個別または複数のデバイスを最小限の知識でプロビジョニングできます
初期投資コストを削減し、従量制の運用費モデルを採用したい	FortiCloudは、SaaS (Software as a Service) を採用しているため、少ない初期投資で利用できます
ワイヤレス/セキュリティインフラストラクチャを一元管理したい	FortiCloudでは、ワイヤレス/セキュリティデバイス全体の一元管理と同時に、詳細なレベルでの可視化とレポートも可能にします
ネットワークを高度な脅威から保護しつつ、詳細なレベルでのアクセス制御を可能にし、アプリケーション使用ポリシーを導入したい	FortiCloudでは、FortiGuardのクラウドサンドボックステクノロジーを活用して、有害なペイロードのゼロデイ脅威を検査できます
ビジネスの拡大に合わせて拡張できる、将来性のあるワイヤレス/セキュリティソリューションに投資したい	FortiCloudはクラウド型であるため、ビジネスの成長に合わせた拡張が可能で、必要に応じてイベントログのストレージを追加できます

機能

クラウド型ログストレージ^{*1}

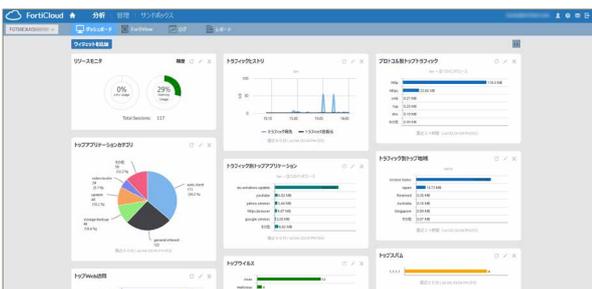
ログの保存は、セキュリティやコンプライアンスのどのようなベストプラクティスにも不可欠な重要な要素ですが、ストレージシステムを別に用意して管理すると、面倒な作業や余分なコストが発生します。FortiCloudでは、ログの保存を自動化し、重要なログ情報を安全性の高いクラウドに保存します。デバイスのタイプに応じて、トラフィック、システム、Web、アプリケーション、セキュリティなどの異なるタイプのイベントのログを簡単に保存しており、リモートからでも容易にアクセスできます。

FortiCloudは、FortiGateデバイスとクラウドの間のログ送信を含むすべての通信を暗号化します。また、世界中の高度なネットワークの長年にわたる保護で蓄積した専門知識を活用して、効果の高いセキュリティ対策を実装することで、お客様データのセキュリティを確保し、第三者による参照や取得を阻止します。

*1: ログ容量に応じて別途ライセンスを購入いただく必要があります。

ダッシュボードによるリアルタイム監視

ネットワークのセキュリティ制御を強化するには、まずネットワークの使用状況を把握する必要があります。FortiCloudの充実したダッシュボードを使用することで、FortiGateの使用状況をネットワークトラフィックや帯域幅の使用状況などにブレイクダウンし、一目で確認できます。FortiCloudにおけるドリルダウン分析やフィルタリングの機能を使用すると、アプリケーション、Webサイト、ユーザー、および脅威のネットワークへの影響を瞬時に判断できます。モニタウィジェットも準備されており、管理者がモニタリングしやすいようにカスタマイズすることが可能です。

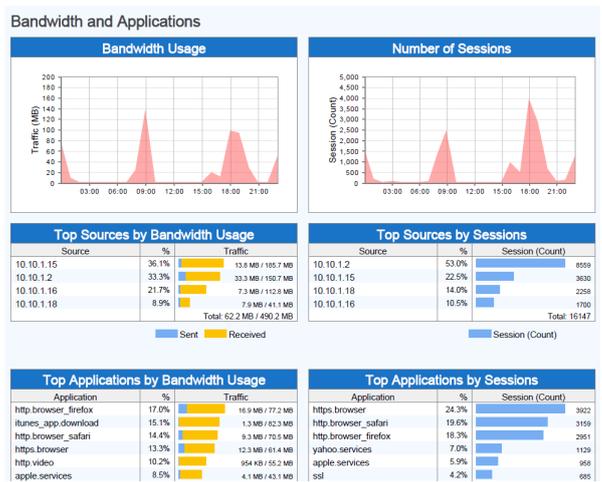


ダッシュボード (イメージ)

セキュリティレポート生成機能

コスト削減に継続して取り組み、情報漏えいを防止するには、ネットワークやセキュリティに関連するアクティビティの定期的な見直しが不可欠です。FortiCloudのレポート機能を利用すると、プロアクティブにネットワークを最適化し、企業のエグゼクティブによる厳しい要求に対応できるようになります。FortiCloudには、事前構成済みのレポートに加えてレポートのカスタマイズ機能も用意されているため、レポートやコンプライアンスの個別の要件に必要な情報をレポートに組み込むことができます。アドホックまたは特定のスケジュールでレポートを作成し、特定の対象者がレポートをダウンロードしたり、電子メールで受け取ることが可能です。

Summary Report



セキュリティレポート (イメージ)

機能

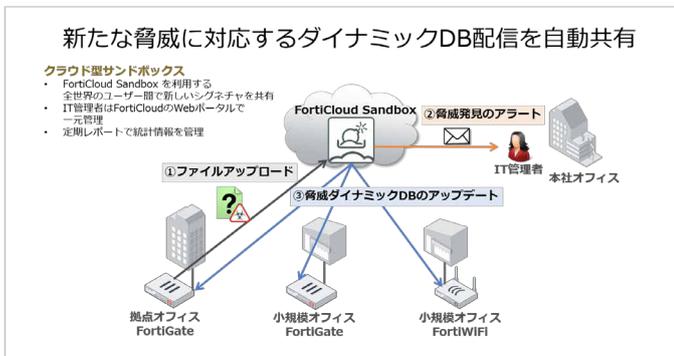
リモートからのデバイス管理 (ファームウェア&設定管理)

ネットワーク上のデバイスが正しく構成されていなければ、最高のパフォーマンスとセキュリティ状態を維持できません。FortiCloud では、Web ベースの一元管理コンソールを使用してフォーティネットデバイスを制御できます。IP アドレスや SSID などのデバイス設定は、この一元コンソールからデバイスごとに構成することも、複数のデバイスにまとめてプッシュすることもできます。構成のバックアップは FortiCloud に保存されるため、デバイスの入れ替えやリカバリの作業に利用できます。デバイスのファームウェアアップデートも一元コンソールからまとめて管理、制御できるため、ポリシーをまとめて適用して、最新の機能が使用されるようになります。

クラウド型の FortiCloud Sandbox^{*2}

FortiGate の導入にあたっては、フォーティネットの FortiGuard Labs のグローバル脅威調査チームの専門知識を活用して、潜在的な悪意のあるファイルを検査できます。FortiGate / FortiWiFi は、不審なファイルを検査してアップロードして、サンドボックス環境でそのファイルを実行し、その動作を分析してリスクを判断できます。リスクのある動作やウイルスが見つかった場合は、FortiGuard チームが新しいウイルスシグネチャを作成し、それを FortiGuard アンチマルウェアデータベースに追加します。FortiGate / FortiWiFi から送られてきたすべてのファイルのステータスを FortiCloud コンソールで確認できます。

また、FortiMail はメールに特化した検査に加え、クラウドのサンドボックスを利用することで不審な添付ファイルをリアルタイムにブロックすることが出来る唯一のソリューションです。



*2: ご利用にあたっては別途ライセンスを購入いただく必要があります。

クラウド型無線 LAN コントローラ

FortiCloud は FortiAP ワイヤレスアクセスポイントを収容する無線 LAN コントローラ機能を提供します。FortiCloud では、アクセスポイントの稼働時間やパフォーマンス測定値などの情報が提供されるため、WiFi 環境を円滑かつ確実に運用できます。無線環境の状態の統計とクライアント接続のデータが記録されます。また、FortiAP のマッピングやクライアントの使用状況などグラフで表示し、管理負荷を軽減します。不正に設置されたアクセスポイントの検出と排除も可能なため、無線空間のセキュリティも確保します。

リモートサイト毎の管理では、ワイヤレスアクセスを利用するゲストの状況の管理に時間や手間がかかり、単純な構成ミスによってネットワークがセキュリティの脅威にさらされる可能性があります。サービス業や小売業などの業種では特に、ゲストによるアクセスの一元管理が不可欠です。FortiCloud では、ゲストによるワイヤレスネットワークへのアクセス方法を完全に制御できるほか、認証用キャプティブポータルのカスタマイズなどの機能も提供されます。FortiAP S と組み合わせることで、アクセスポイント上で UTM 機能が動作し、セキュアな WiFi 環境を容易に構築することが可能です。

ゲストのワイヤレスアクセスを全面的に制御

リモートサイト毎の管理では、ワイヤレスアクセスを利用するゲストの状況の管理に時間や手間がかかり、単純な構成ミスによってネットワークがセキュリティの脅威にさらされる可能性があります。サービス業や小売業などの業種では特に、ゲストによるアクセスの一元管理が不可欠です。FortiCloud では、ゲストによるワイヤレスネットワークへのアクセス方法を完全に制御できるほか、認証用キャプティブポータルのカスタマイズなどの機能も提供されます。FortiAP S と組み合わせることで、アクセスポイント上で UTM 機能が動作し、セキュアな WiFi 環境を容易に構築することが可能です。

ワイヤレス機能を拡張するアドバンスド管理ライセンス^{*3}

FortiAP S モデルアクセスポイントは、包括的な FortiGuard 脅威管理サービスを提供可能です。アドバンスド管理ライセンスには、FortiGuard サービスへのサブスクリプションのほか、1年間のログ保存、FortiCare による 1日8時間、週5日のサポートが付属します。また、FortiAP S エンタープライズ管理ライセンスには、Bonjour プロトコルをレイヤー2ドメイン間で容易にコピー可能にする Bonjour リレーをはじめ、さまざまな追加機能も含まれています。

従来 of FortiAP / FortiAP U シリーズにおいても、アドバンスド管理ライセンスの導入によって 1年間のログ保存および FortiCare サポートが提供されます。

さらに、FortiAP および FortiAP S アクセスポイントでは、高度な無線電波構成オプション、RADIUS 属性に基づくダイナミック VLAN、クライアントのイントラ SSID 分離も有効にすることが可能です。

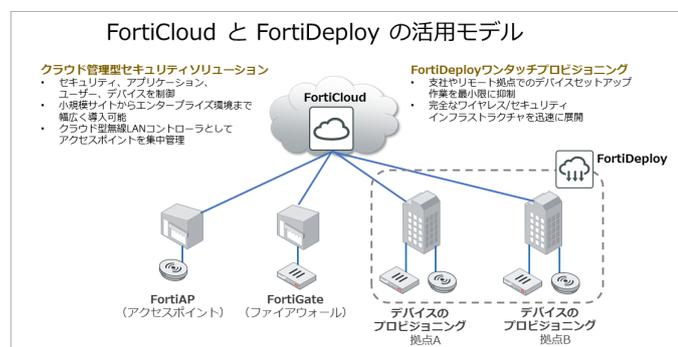
*3: ご利用にあたっては別途ライセンスを購入いただく必要があります。

機能

FortiDeploy^{*4} によるワンタッチデプロイ

ファイアウォールとアクセスポイントの初期構成はそれぞれの環境によって異なるため、多くの場合はエキスパートによるオンサイトでのデバイスごとの個別の構成が必要になります。FortiDeploy では、デバイス導入時のローカルまたはリモートでのワンタッチのプロビジョニングが可能であるため、初期構成と設置担当者へのトレーニングが大幅に簡素化されます。FortiDeploy によって、FortiAP をクラウド AP ネットワークに配備し、FortiGate を自動接続して FortiCloud で管理できます。

小売業や教育機関の大規模ネットワークなどの分散環境の数百もの FortiGate や FortiAP を、バルクキーを使用してプロビジョニングできます。FortiCloud は、通信トンネルが確立されると、プロビジョニングプロファイルとセットアップウィザードを使用して、必要とするマネージドデバイスを迅速に構成します。



FortiCloud では、FortiAP ワイヤレスアクセスポイントや FortiGate ファイアウォールを中央のクラウドベース管理コンソールから管理できます。

*4: ご利用にあたっては別途ライセンスを購入いただく必要があります。

FortiCloud トランスポートセキュリティ / サービスの可用性の確保

FortiCloud は、FortiGate デバイスとクラウドの間のログ情報を含むすべての通信を暗号化します。フォーティネットは、複数のデータセンターを用意することで、FortiCloud サービスの高可用性を保証しています。また、世界中の高度なネットワークの長年にわたる保護で蓄積した専門知識を活用して、効果の高いセキュリティ対策を実装することで、お客様のデータのセキュリティを確保し第三者による参照や取得を遮断します。

二要素認証

FortiCloud は、FortiToken アプリケーションを使用した二要素認証をサポートしています。二要素認証サービスは、FortiToken 製品の無料セキュリティサービスとして提供されます。

FORTINET®

フォーティネットジャパン株式会社

〒106-0032

東京都港区六本木 7-7-7

Tri-Seven Roppongi 9 階

www.fortinet.co.jp/contact

お問い合わせ